

* 失恋したときに

『流れ星が消えないうちに』
(橋本紡／著 新潮文庫)

奈緒子はいつからか玄関で寝る生活をしてきたが、ある日、父親が家出てきて、どこか奇妙な親子での生活が始まる。

その頃、奈緒子の恋人・巧は、ボクシングの練習で山崎先輩にKOをくらい、身のあり方を考えていた。そんな2人の共通点は、奈緒子の恋人であり巧の親友たる加地の存在だった…。
(那須拓陽高 Mさん)



過去と未来



昔の人の恋愛を知って

『眠れないほど面白い百人一首』
(板野博行／著 三笠書房)
悲恋の歌を読み、感傷にひたる。素敵な恋愛の歌を読み、元気づけられる。そんなことができる本です。たくさんの歌とその歌の詠まれた背景。作者の人となり、歴史の裏話、秘められた思い。読んで癒されてみませんか？
(黒磯南高 Aさん)

ねえ好きな人っている？



* 誰かと一緒に

みんなで共有したい！
感動を誰かに伝えたい本たちです。



『100万回生きたねこ』
(佐野洋子／作・絵 講談社)
100万回生きて、100万人の人に愛された立派なねこ。ある時ねこは、誰にも飼わず自分のねこになった。そんな時出会ったのは、ねこに見向きもしない白い美しいねこ。白いねこ暮らし幸せを感じるねこ、読んでいって温かくなって切なくなって考えさせる素敵な物語です。
(宇都宮白楊高 Rさん)

温かくて切なくて

『狐笛のかなた』
(上橋菜穂子／作 理論社)

母から人の心が聞こえる「聞き耳」を受け継いだ小夜は、使い魔にされた霊狐野火と山奥の屋敷に幽閉されている小春丸と出会い、隣国との争いに巻き込まれていく。そして、二人と一匹の運命は…。(上三川高 Yさん)



過去と呪いと因縁

『おおかみこどもの雨と雪』
(細田守／著 角川文庫)
大学生の花は、おおかみおとこに恋をした。2人の子供の〈雨〉と〈雪〉は、人間とおおかみの血を受け継いだ子供。本当の家族愛が語られた一冊。
(栃木農業高校 Kさん)

好きになった人が、おおかみおとこだった



告白する前、勇気が出ないとき。
失恋して誰かになぐさめて欲しいとき。
手にとってみてはいかがでしょう。

恋愛



『荒野』
(桜庭一樹／著 文藝春秋)
鎌倉に住む恋愛小説家の娘・山野内荒野はちょっと恋に奥手な女の子。ようやく恋のしっぽを捕まえたと思ったけど、相手の男の子はまさかの…。荒野が12歳から16歳になるまでを描く三部作。青春がギュッと詰まった爽やかな物語。
(宇都宮女子高 Nさん)

恋って、ちょっと大人で、すぐ子供だ

『あの日、ブルームーンに。』
(宮下恵葉／著 ポプラ社)
特に取り柄もなく真面目な中学3年生、結愛は、ある日偶然女たらしと言われていた同級生・蒼井瞬と知り合う。彼の様々な一面に触れていくうち、お互いに惹かれあってゆくが、段々と卒業が近づいてきて…。甘酸っぱくほろ苦いストレートなラブストーリー。
(鹿沼高 Rさん)



シャボン玉のような恋



『放課後の音符』
(山田詠美／著 新潮文庫)
まだ大人になりきれない17歳。チャイムが鳴ったら、それぞれの恋が動き出す放課後の時間。一途な片思いも、心の中に閉じ込めた苦い思いも、今の私達にしか味わえない特別な味。そんなちょっとピターでスパイスの効いた8編の恋愛小説。あなたはどの味に酔いしれる？
(小山南高 Kさん)

※著者は栃木県ゆかりの方です。

* 告白する前に

ひとりでだれかと



宵山に迷い込んでみませんか？

『宵山万華鏡』
(森見 登美彦／著 集英社)
京都の祇園祭を舞台に何かが起こる。姉妹の神隠し、繰り返される一日…など様々な事件が起こり、それらが全て繋がっている。幻想的で少し不気味で、なのにどこかあったかい。お祭りに迷い込んだような気分になれる、不思議な連作短編集。
(宇都宮女子高 Nさん)

『夜が運ばれてくるまでに』
～A Book in A Bed～

(時雨沢恵一／文 黒星紅白／絵 メディアワークス文庫)
流れる時間の中でいつか落としてしまった大切な思い、小さい頃の温かい記憶、当たり前前の感情を思い出させてくれる。優しく、悲しくて、胸にズキリとくる25の短編集。夜を待つひとときに、誰かを思い出しながら読んで欲しい一冊。
(鹿沼高 Mさん)



夜を待つひとときに

* ひとりになりたい時に

ちょっとひとりになりたい気分の時もありますよね？
そんな時はこの本と一緒に…。